

# JBL by HARMAN BOOST TV 取扱説明書

## 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

- 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
  - 分解してはいけないことを示す記号です。
  - 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
  - 触れてはいけないことを示す記号です。
  - 煙が出る場合、異常なおびや音がする場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
  - 本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
  - 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
  - アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因となります。
  - 調理台や加湿器の近くなど油煙や湿気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になります。
  - 直射日光があたる場所や、湿度が異常に高くなる場所（浴室のそばなど）に設置しない。キャビネットや内部回路に影響が生じ、火災の原因になることがあります。
  - オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用して接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。
  - ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
  - 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
  - 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
  - 薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点使用部を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

## 警告

- AC アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、AC アダプタを容易に引き抜くためです。
- 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- 付属品の AC アダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- 船舶などの直流 (DC) 電源には接続しない。火災の原因になります。
- 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- テールタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- 雷が降りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- 電源コードの上に乗るようなものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

## 注意

- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、AC アダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- AC アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- AC アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。AC アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

## 電池についてのご注意

- ① 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏れた液に液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
- 液が漏れたとき  
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
  - 液が目に入ったとき  
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
  - 液が体や衣服についたとき  
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
- ② 電池について以下のことに注意する。本製品のリモコンはリチウム電池を使用しています。リチウム電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
- 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
  - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
  - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
  - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
  - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

## Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

- ・ 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

- 注意**
- ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
  - ・ 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
  - ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例  
補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について  
本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解 / 改造すること。
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について  
この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

## 本機の特長

- ◆ 臨場感と迫力あるサウンドを生み出す、独自の「HARMAN Display Surround」を搭載。  
コンパクトサイズながら低音を増強するベースポート 2 基に加え、「HARMAN Display Surround」モードの搭載により、圧倒的な迫力と臨場感を実現。  
JBL のサウンドクオリティを、リビングやプライベートルームでお楽しみいただけます。
- ◆ コンパクトですっきりと設置、ケーブル・Bluetooth で簡単接続  
幅 37.6cm、高さ 8.4cm、奥行 12.2cm の置き場に困らないコンパクトサイズで、リビングやプライベートルームにある TV の前にすっきりと設置できます。  
また、TV との接続は付属の光デジタルケーブル、アナログケーブルでつなぐだけで、面倒な設定も不要です。  
さらに、Bluetooth に対応しているので、スマートホン、PC、タブレットなどの対応デバイスを使って、リビング用スピーカーとしてもパワフルな JBL サウンドを楽しめます。
- ◆ ご自宅で映像・音楽視聴をより快適にする機能を搭載。  
BOOST TV は、TV 視聴中に Bluetooth 接続したスマートホンやタブレットで音楽再生すると自動的に音声 Bluetooth 再生に切り換わる「JBL サウンドシフト」機能を搭載しているため、面倒な設定変更せずに音楽を楽しむことができます。また、付属のリモコンだけでなく、TV 用リモコンでも BOOST TV の操作が可能となる「リモコン学習」機能など、ご自宅で映像・音楽視聴をより快適にする機能を搭載しています。

- ◆ 充実のワイヤレス機能により、さまざまなシーンで活躍。  
「JBL コネクト」機能を搭載した 2 台を同時にワイヤレス接続することができ、大音量かつパワフルなサウンドをお楽しみいただけます。  
（「JBL コネクト」機能は、JBL XTREME、JBL PULSE2、JBL FLIP3、BOOST TV に搭載されています。）  
さらに、Bluetooth 接続でデバイスを 3 台まで同時にペアリングし、交互に音楽再生することができる機能（ソーシャルモード）を搭載。接続した複数台のデバイスのうち、最後に再生ボタンを押したデバイスの音楽が再生されるので、簡単に音楽の切り替えができ、家族や友人とのホームパーティーなどで活躍します。



- ・ Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- ・ Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- ・ iPod および iPad は、米国およびその他の国々登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- ・ JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

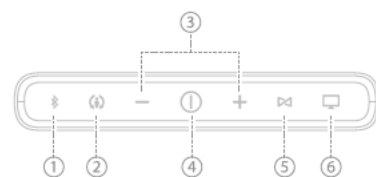
## 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- 電源ケーブル
- AC アダプタ
- リモコン
- 光デジタルケーブル
- アナログケーブル
- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）

## 各部の名称

### ▶ 本体上面



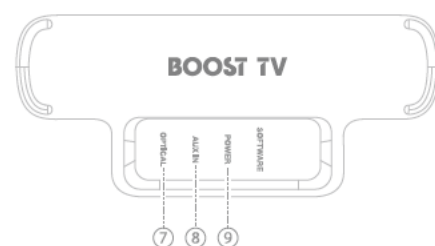
- 1 Bluetooth (Bluetooth) ボタン
- 2 Harman Display Surround (HDS) ボタン
- 3 音量 (+/-) ボタン
- 4 電源 (Power) ボタン
- 5 JBL コネクト (Connect) ボタン
- 6 TV (TV) ボタン

### ▶ リモコン



- 10 電源 (Power) ボタン
- 11 Bluetooth (Bluetooth) ボタン
- 12 JBL コネクト (Connect) ボタン
- 13 音量 (+/-) ボタン
- 14 VIRTUAL SURROUND (Harman Display Surround) (HDS) ボタン
- 15 TV (TV) ボタン
- 16 FEEDBACK (Feedback) ボタン  
FEEDBACK (フィードバック) 機能をオンにすると、設定の確認音が鳴ります。

### ▶ 本体背面



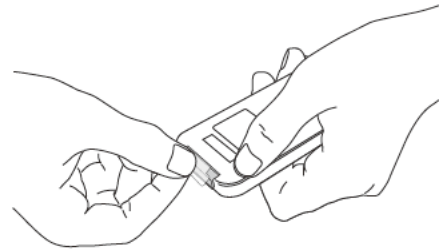
- 7 OPTICAL (光デジタル音声入力) 端子
- 8 AUX IN (アナログ入力) 端子
- 9 POWER (AC 電源入力) 端子

## 準備

### ▶ リモコンに電池を入れる

リモコンにはあらかじめ電池が入れています。お使いになる前に、絶縁フィルムを引き抜いてください。

- 付属の電池は動作確認用です。寿命が短いことがありますが、ご了承ください。



電池を交換する際は、以下の手順で行います。

- ① 電池ぶたを開ける
- ② 古い電池を取り出し、新しい電池 (CR2025) と交換する。
- ③ 電池ぶたを閉める。



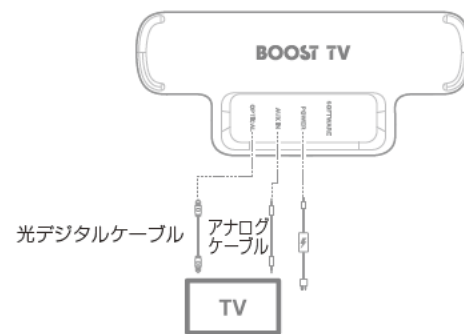
### ご注意

- 指定のリチウム電池 (CR2025) を正しく入れてください。逆に入れたり、確実に入っていないと発熱・変形・液漏れ・故障の原因になります。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。リモコン内で電池が液漏れを起こす場合があります。
- 万一液漏れが起こったときは、よくふき取って新しい電池を入れてください。
- 保証期限を過ぎた電池や、一部海外メーカーの電池を使用した場合、電池電圧が大きく変動するため、使用時間が極端に短くなったり、正常な動作をしなくなったりします。
- 不要となった電池の廃棄は、各自治体の指示 (条例) に従ってください。
- リモコンの操作可能範囲の目安は正面から約 3m、左右 30 度以内です。

## 接続

### ▶ テレビに接続する

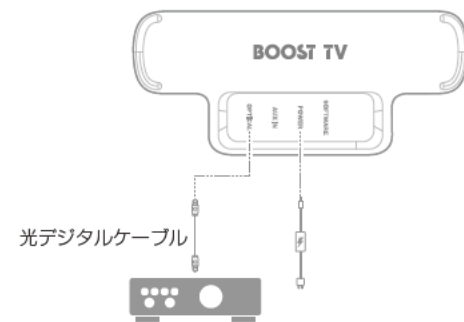
付属の光デジタルケーブル、またはアナログケーブルを使用して、本機とテレビを接続してください。



### ▶ 光デジタルで接続する

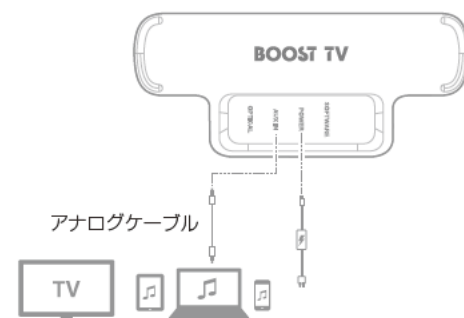
付属の光デジタルケーブルを使って、本体背面の OPTICAL 端子と、光デジタル出力に対応しているテレビや PC、オーディオ機器などと接続します。

- 本機の OPTICAL (光デジタル) 端子は「角型」になります。



### ▶ アナログオーディオで接続する

付属のアナログケーブルを使って、本体背面の AUX IN 端子と TV、PC やオーディオ機器のヘッドホン端子などと接続します。



### ▶ 電源の接続

ケーブルの接続がすべて完了したら、電源に接続します。

- ① AC アダプタに電源ケーブルを接続します。
- ② 本機の POWER 端子に、AC アダプタを接続します。
- ③ 電源ケーブルのプラグを壁面のコンセントに接続します。

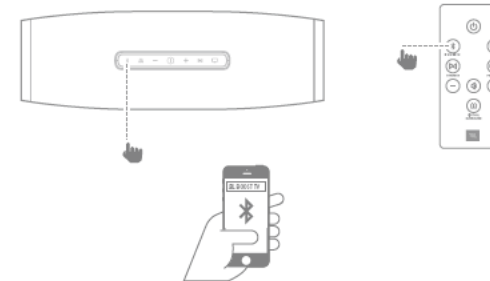
## Bluetooth 接続を行う

- Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 電源 (Ⓜ) ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- ② Bluetooth (📶) ボタンを押す。  
Bluetooth (📶) ボタンが点滅し、ペアリング設定状態になります。



- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。  
ペアリングが完了するとビーブ音が鳴り、Bluetooth (📶) ボタンが点灯します。

iPhone/iPod/iPad の場合 :

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。  
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。  
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスから「JBL Boost TV」を選択する。  
接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示されます。

その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合 :

- ① ペアリング設定状態にする。  
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。  
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)  
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。  
Bluetooth (📶) ボタンが点灯すると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

### ▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

iPhone/iPod/iPad で再生する

- ① iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- ② 📺 アイコンをタップする。
- ③ 「JBL Boost TV」をタップする。



### その他のデバイスで設定する

▶ 接続したデバイスで再生を始める。  
接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

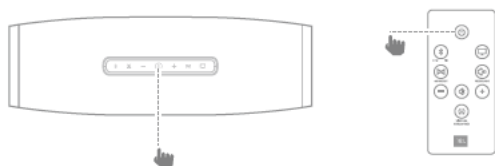
### ▶ Bluetooth 接続を解除するには

デバイスの Bluetooth を「OFF」にします。

## 基本操作

### ▶ 電源をオン / オフする

電源 (ⓘ) ボタンを押します。  
電源がオフのときに、電源ボタンを押すと、電源がオンになります。



電源の状態は、本体の電源ボタン上のインジケータで確認できます。

- ・オレンジ：電源オフ（スタンバイモード）
- ・白：電源オン

また本機には、以下の機能が搭載されています。

### オートスタンバイ

本機は、約 10 分間音声信号が検出されないと、自動的にスタンバイモードになります。

本機を、お使いのテレビのリモコンのオン / オフコマンドに反応するように設定した場合は、テレビの電源をオフにすると同時に、本機もスタンバイモードにすることができます。

### ▶ テレビの音を聞くには

- ① テレビの電源をオンにします。
- ② 本機の電源をオンにします。
- ③ TV (TV) ボタンを押します。

設定画面の表示方法および設定方法は、お使いのテレビによって異なります。

お使いのテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

重要：光デジタル接続した機器の音声優先されます。アナログ接続した機器の音声を聴きたいときは、光デジタル接続した機器の電源をオフにしてください。

### ▶ 音量を調整する

本体またはリモコンの音量 (- / +) ボタンを押します。



### ミュート（消音）状態にする

リモコンのミュート (M) ボタンを押します。本体の場合は、+ と - ボタンを同時に押します。  
ミュート中は、電源ボタンのインジケータが白く点滅します。もう一度押すと解除されます。



### サラウンドモードを使用する

本体またはリモコンの VIRTUAL SURROUND (Harman Display Surround) (S) ボタンを押すと、サラウンドモードがオンになります。  
サラウンドモードのときは、本体の Harman Display Surround (S) ボタンのインジケータが白く点灯します。



### JBL サウンドシフトを使用する

JBL サウンドシフト機能をオンにしておくと、テレビの視聴中、Bluetooth 接続したデバイスの再生ボタンを押したとき、自動的に Bluetooth 再生に切り換わります。  
また再生を停止すると、自動的にテレビの音声に切り換わります。



JBL サウンドシフト機能のオン / オフは、本体またはリモコンの TV (TV) ボタンで切り換えます。オンのときは本体の TV (TV) ボタンのインジケータが青く点灯します。

## 複数のスピーカーをワイヤレス接続する (JBL コネクト)

もう 1 台の JBL コネクト対応スピーカーを接続して、2 台のスピーカーで同じ音声を再生することができます。

### ご注意

同時再生やステレオ再生することができるのは、Bluetooth 再生の音声のみとなります。  
光デジタル接続またはアナログ接続した音声は、同時再生やステレオ再生することはできません。

- ① 1 台のスピーカーとデバイスを Bluetooth 接続する。  
接続方法は、「Bluetooth 接続を行う」を参照してください。
- ② Bluetooth 接続したスピーカーの JBL コネクト (C) ボタンを押す。  
JBL コネクト (C) ボタンが点滅します。
- ③ 2 台目のスピーカーの JBL コネクト (C) ボタンを押す。  
接続されると、JBL コネクト (C) ボタンが点滅から点灯に変わります。

## お使いのテレビのリモコンで本機を操作する

お使いのテレビのリモコンで、本機の以下の操作を行えるよう設定することができます。

- ・電源オン / オフ
- ・音量調整
- ・ミュート

### ご注意

お使いのテレビによって対応していない場合があります。

- ① 本体の Harman Display Surround (S) ボタンを 5 秒以上長押しして、インジケータがオレンジ色に点滅していることを確認します。



- ② 電源オン / オフの設定を行う。

本体の電源 (ⓘ) ボタンを押したあと、テレビリモコンの電源ボタンを押します。



- ③ 音量 + の設定を行う。

本体の音量 (+) ボタンを押したあと、テレビリモコンの音量 + ボタンを押します。



- ④ 音量 - の設定を行う。

本体の音量 (-) ボタンを押したあと、テレビリモコンの音量 - ボタンを押します。



- ⑤ ミュートの設定を行います。

本体の音量 (+) と音量 (-) ボタンを同時に押したあと、テレビリモコンのミュート (消音) ボタンを押します。



- ⑥ 本体の Harman Display Surround (S) ボタンを 5 秒以上長押しして、インジケータの点滅が止まることを確認します。



## 主な仕様

音声入力	Bluetooth × 1、光デジタル × 1、アナログ × 1
最大出力	30W (15W × 2)
使用ユニット	50 mm × 2
周波数特性	60 Hz ~ 20 kHz
Bluetooth	バージョン : Bluetooth3.0
サイズ	幅 376 × 高さ 84 × 奥行き 122 mm (本体のみ)
質量	約 1.6 kg

### ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

### ▶ 本機の廃棄について



本機はリモコンにリチウムイオン電池を使用しています。  
リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

#### ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

## トラブルシューティング

原因	解決法
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。 オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

### ▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。  
HARMAN Owners' Club (ハーманオーナーズクラブ) は、ハーманインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

### ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーманインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日を除く、平日 9:30 ~ 17:30



ハーманインターナショナル株式会社

© 2015 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

15115000